

## 日本共産党 さっぽろ市議団ニュース

No. 365 2024年10月22日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221/fax 218-5124

### 残存PFAS汚染 国基準は暫定、検査実施で不安払しょくを

発がん性など健康被害が指摘される有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染が全国的に問題となる中、11日の決算特別委員会で太田秀子市議が、丘珠空港周辺の汚染実態に関連して検査について強化を求めました。

札幌市ではかつて市衛生研究所が2009～2010年におこなった実態調査で、丘珠2号川周辺から、現在の暫定目標値を大きく上回るPFASの一種PFOSが最大18,000ng/l検出され、今回、政府が暫定指針値の見直しなどを視野に入れているなか、市は2023年から定点調査を実施しています。太田市議は、北海道新聞が実施した丘珠2号川の調査が

84ng/lと指針値を超えたことから、「市としての調査が必要だったのでは」と質問。市は川の下流部分の水質が指針値を下回っていたとして、丘珠2号川の調査は必要ないと判断したと答弁しました。

下流で数値が低いのは、水量が少ない丘珠2号川や周辺の土壌に残存している可能性があることから、太田市議は、市民の不安払しょくには、浸透が考えられる地下水の検査を単発ではなく個所と頻

### 10月11日 太田市議

度を増やすべきと質問。国が暫定値しか示さないなかで、自治体が積極的に取り組むことを要請しました。PFASについては9月12日、日本共産党東区地区委員会が太田市議も同席し市に要望書を提出しています。(写真)



### 地域負担ゼロ 検討の考え示す時

10月4日 パートナースhip排雪で長屋市議

第3回定例会の代表質問で、パートナーシップ排雪制度について副市長が、検討課題に「札幌市がすべての生活道路を排雪すること」も含めると答弁したことを受けて、長屋いずみ市議は、「本市が地域負担を軽減、あるいはゼロにするということ、あり方検討会の中で考えているということなのか」と質問、市は、「負担のあり方につきま



しては、そういった検討の進捗に伴いまして議論されていくもの」と答弁し、議題としていくのかどうかの答弁を避けました。

### 料金設定は低廉を基本に

10月4日 手数料・使用料で池田市議

市は2025年度から、物価上昇比率や人事院勧告の伸び率をみて受益者負担を見直していくとして、使用量や手数料を、「国や他都市、類似施設との均衡を考慮しながら、サービスの性質に応じて設定」していくとしています。池田由美市議は、「生活状態や経済水準に違いがあっても、施設等を利用できることが保障される低廉な価格であることが望ましいが市の認識は」と質問。



市有施設の物価、人件費の高騰分を、受益者負担を理由に市民に負担させるべきではないと再検討を求めました。

### 効果的な選挙啓発で研究と市答弁

10月4日 大学と協力をと吉岡市議

投票率向上に取り組む選挙管理委員会は、小中高校を対象とした模擬投票等を行う出前講座をおこなっていますが、2023年度は小学102、中学3校、高校等3校と学齢が上がるにつれて減少しています。吉岡弘子市議は、投票行動へと結びつく学びの機会がないまま高等教育に進学している学生が多いことをあげ、「大学等に協力を得て投票の呼びかけや期日前投票、不在者投票



の周知」について質問。市選管は大学生を含む若年層への効果的な選挙啓発を研究していくと答弁しました。